

環境報告書（第七回）

 平成22年6月10日
 環境管理責任者

第85期(H21年度・21.5/21～22.5/20)

当社足立生産センターにおける環境活動も、スタート以来丸6年を経過致しました。お陰様を持ちまして、関係各位のご支援をいただき、一定の成果を得ることが出来ましたこと、深く感謝する次第です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

当社足立生産センターにおける本年度(85期)環境マネジメントシステム(EMS)の状況についてご報告いたします。

■ 目的・目標活動結果

著しい環境側面	環境への影響等	是正措置等
損紙の発生	地球環境(森林資源)を守る	85期は近年の少ロット化が更に進行すると共に、難度の高い薄紙印刷の需要増も加わり、目標達成には至らなかった。 今後は目標数値の見直しも含め、需要の変化に対応すべく、機械調整・技術の向上をより推進していく。
電気を使用する ガスを使用する	有効なエネルギー資源を有効に使う	冷暖房温度管理・機械停止時の運用改善等の削減活動と共に、本年は周辺設備の省エネ化に資源投入した結果、一定の効果を得ることが出来たが、目標数値には届かなかった。 電気については、省エネ設備への更新などが奏功したが、僅かに未達成。今後とも省エネ化実施に向け、更に検討していく。 ガスについても、工場空調設備(GHP)の省エネ更新などを実施。今後夏場に向けて効果が上がるものと思われるが、僅かながら目標未達成となった。
廃インキの削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	85期目標を達成した。 在庫的確な把握と発注意識の改善及び残肉の一部有効利用も実施し、廃棄量を削減することができた。 結果廃棄物処理代の軽減にも繋がった。
ロスミスによる用紙使用量の削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	85期目標を達成した。 管理体制の効率化・仕事内容の適切な把握・技術者の意識向上などが相まって、成果をあげることができた。 しかし、まだまだ改善・向上の余地もあり、活動を強力に推進していく。

■ 主な活動状況

- 当社は印刷オペレータを中心に、随時外部教育機関へ派遣し印刷技術・知識の向上を図っているが、同時に、環境活動(力量)のアップ改善へもつなげ、損紙削減活動等にも寄与している。
- 3事業年度に亘り資源を投入し、印刷機オーバーホールを実施中(3年目)であるが、機械予防保全の意味からも効率よい運転が期待でき、損紙削減、省エネ運転につながるものと期待している。
- 85期は工場内換気設備の改善及び空調設備の省エネタイプ更新と、印刷環境(印刷品質及び作業場温度)整備を図ると共に、省エネに向けての大きな資源を投入した。
- また周辺設備においても、予定通り冷却水チラーポンプ及びコンプレッサーの一部インバーター化も実施し、今後の省エネ活動に大きく寄与するものと思われる。

以上のような活動を今後とも展開し、環境活動に貢献できる会社を、更に目指していきます。